

# 平成29年度の主要事業

○はじめに	1
○高齢者運転免許自主返納支援事業	2
○高齢者防災対策用品支給事業	2
○ブラウンバック運動事業	3
○成人歯科健診 60歳個別受診勧奨事業	3
○窓口・受付業務筆談サポート電子メモパッド購入事業	4
○出産・子育て応援ゆりかご・こくぶんじ事業	4
○義務教育就学児医療費助成事業	4
○民設民営保育所整備事業 他	5
○宿舍借り上げ支援事業（保育所入所児委託事業）	5
○小学校の施設整備事業 他	6
○こくぶんじ青空ひろば事業	6
○国立駅高架下市民利用施設整備事業	7
○国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計繰出金 他	7
○公益施設整備事業	8
○国3・4・12号線整備事業	8
○観光案内看板設置事業	9
○西武国分寺線・多摩湖線ホーム改良	9

平成29年2月13日

国分寺市

## ★はじめに★

### 『国分寺市総合ビジョン』の実現へ、収支均衡予算を達成

平成 29 年度予算は、新たな総合計画『国分寺市総合ビジョン』が始まる重要な年度となります。総合ビジョンに掲げる「未来のまちの姿」の実現に向け、過去最大規模の予算額としつつも、財政健全化の視点から歳入、歳出ともに全ての事務事業をゼロベースから見直した収支均衡予算となりました。

また、基金についても財政調整基金に約42億8千万円、庁舎建設資金積立基金に約21億1千万円を積み増し、より強固な財政基盤を確立します。



～国分寺駅北口再開発事業（完成イメージ）～

### 高齢者運転免許証自主返納者にぶんバス無料パスを支給

全国で高齢運転者による交通事故は増加傾向にあり，平成 27 年度の交通事故の総件数の内，21.5%を占め，10 年前の 1.9 倍となっています。

高齢者の自動車交通事故を未然に防止するため，運転免許証を自主返納した 65 歳以上の高齢者に対し，ぶんバスの無料パスを支給します。これにより免許証の返納後も，交通手段の確保，社会参加の継続が図れるよう対応します。

### 高齢者の自助力向上

いつ起こるかわからない災害に対して，日頃からの備えは重要です。特に，災害時に要配慮者となる高齢者には，平常時から災害への備えを啓発していく必要があります。

そこで，75 歳以上のひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯に対し，防災対策のみでなく，様々な用途で使用可能なレスキューシートを配布します。あわせて，防災用品を自宅に居ながら購入できる，市の防災用品あっせん事業の周知をします。

これにより，高齢者が防災の重要性を再認識し，事前に備えを行うよう推進することで，高齢者の自助力向上を図ります。

### **ブラウンバッグで残薬や重複服薬を適正に管理**

慢性疾患に罹患している方や高齢者等が多く薬を処方されている場合、飲み忘れや飲み残し、または薬の期限が切れてしまっていることが見受けられます。

そこで、国分寺市薬剤師会の協力により、残薬や重複服薬を適正に管理するためのブラウンバッグを作成・配布します。ブラウンバッグを使用することで残薬整理のサポートを行い、医療費の適正化を図ります。

### **60歳対象に歯科個別受診勧奨・パノラマレントゲンを実施**

成人歯科健康診査について、60歳になる市民を対象に、個別受診勧奨を行います。また、歯科医師が必要と判断した方については、パノラマレントゲン撮影を行います。

60歳から歯の喪失が増えていく傾向にあるため、本事業を行うことで、歯周病の予防や処置済み歯の状態を確認し、治療に繋げることで歯の喪失を防ぎます。

さらに、生活習慣病の予防や虚弱、誤嚥性肺炎の予防、また市民の健康寿命を延ばすことによる介護予防や医療費適正化などの効果が期待できます。

### 市内窓口へ筆談サポート電子メモパッドを設置

昨年4月に施行された障害者差別解消法の規定に基づき、聴覚に障害のある方への配慮の一環として、窓口・受付業務の多い部署を対象に電子メモパッドを37個設置します。

これにより、来庁者との意思疎通が円滑に進むよう筆談によるサポート支援を図ります。

### 妊娠期からの切れ目のない支援を更に充実

妊娠届を提出していただいた妊婦に対し、保健師等による面接及び個人に合った育児支援プランの作成を行います。

これにより、いつでも気軽に相談できる顔の見える関係をつくり、出産や育児への不安解消、潜在的に支援を必要とする家庭の把握につなげ、妊娠期からの切れ目のない支援の充実の入口として本事業を実施します。

また、面接後に出産・子育て支援に役立つ物品を支給することで、妊娠期を迎えた妊婦の支援、子育てへの動機付けも行います。

### 義務教育就学児医療費助成制度の一部所得制限撤廃

義務教育就学児医療費助成制度については、都の制度に準じ所得制限を設けていますが、低学年ほど受診率が高く医療費負担が大きい傾向にあることから、小学3年生までの所得制限を撤廃します。

### 民設民営保育所の誘致などにより待機児童解消を推進

保育施設の整備については、本年4月に3か所で定員合計 228 名の認可保育所を開所するとともに、2か所の既存認可保育所を活用して定員合計 28 名の拡充を進めています。また、平成 30 年2月に1か所で定員 76 名の認可保育所を開所することにより、待機児童の解消に取り組んでいきます。

また、新設される保育所に対し、子ども・子育て支援法に基づき補助金を交付し、安定した保育運営を促します。

### 保育人材の確保、定着及び離職防止を支援

都内では、年々待機児童が増加しており、保育所の需要が増加しているのに対し、保育士が不足しています。

保育士用宿舍を借り上げる保育事業者に、国・都・市が家賃の一部を補助することにより、保育士の確保、定着及び離職防止を図ります。

本市においても、待機児童対策のための新園設立に伴い、保育士不足の影響を受ける可能性もあり、安全で安心な保育を提供するために、保育士が働きやすい環境の整備の支援を行います。



### 小学校トイレの洋式化、特別教室のエアコン設置など

教育環境の向上を図るため、引き続き小学校のトイレの改修工事を実施します。対象校については、老朽化の状況を踏まえ、第三小学校、第八小学校、第九小学校とし、便器の洋式化を中心とした工事を行います。これで、平成29年度にて小学校全校の洋式化は完了となります。

また、夏季の暑さに対処するため、第一小学校、第五小学校、第六小学校、第七小学校の特別教室にエアコンを設置するとともに、平成30年度以降の工事に向けた設計を行います。

さらに、子どもたちに冷たく、よりおいしい水を提供するため、第六小学校において水道の直結給水化工事を行います。

### 市内の公園を活用して、親子の居場所をつくれます

従来の「屋外型親子広場事業」と「子ども野外事業」の二つを合わせ、再構築した「こくぶんじ青空ひろば事業」を市民活動団体との協働事業でスタートします。

「こくぶんじ青空ひろば」は、子育て支援、放課後の子どもの居場所づくりを実現するため、市内の公園を活用して、午前中は主に乳幼児の親子の遊び場や多世代交流の場となり、午後は主に小中学生の遊び場・居場所となるものです。

これにより、地域において子育てをともに支え合うことができるまちづくりを実現します。

### 施設建設とサービスコーナー開設準備の推進

国立市と共同で整備を進めている国立駅高架下市民利用施設は、平成28年度に完了した実施設計に基づき、平成29年度は施設建設工事を行います。

本施設に設置するサービスコーナーでは、各種証明書を交付するほか、申請書の取次ぎや予約函書の貸出し等の行政サービスを効果的に提供できるよう、平成30年度の開設に向けて引き続き準備を進めていきます。

### 再開発ビルの竣工、交通広場の整備

国分寺駅北口再開発事業については、市政にとって長年にわたり懸案でしたが、再開発ビルの建設は平成27年7月の工事着手から順調に進み、平成30年2月に竣工を迎える予定です。

また、交通広場の整備は、平成31年度の完成に向けて今年度から電線共同溝の整備に取り掛かり、それに伴う歩道を随時整備します。

あわせて、交通広場の地下に整備する地下自転車駐車場についても、平成29年度より工事に着手し、広場と同時期の完了を目指します。

昨年募集したタウンネーミングは、選定委員会により抽出した3案を市民投票により決定します。このタウンネーミングは、国分寺駅北口周辺を始めとする広い地域で活用していただけるよう、その運用を定め、地域振興の一助とします。



### 再開発ビル5階に公益フロアを整備

国分寺駅北口再開発西街区ビル5階には、ビルの竣工にあわせて、国分寺の魅力を発掘し、発信する拠点となる公益フロアが整備されます。

駅直近の立地から、多くの市民、来訪者の目に触れる施設としての特性をいかし、国分寺の魅力発信を積極的、効果的に行えるよう様々な手立てを講じていきます。

### 都市計画道路事業に着手

国3・4・12号線（国分寺駅北口再開発事業区域境～熊野神社通り）は、国分寺駅北口へのアクセス性の向上、快適な都市空間の創出及び周辺地域の防災性・安全性の向上を目的とした幅員22m、延長約335mの都市計画道路です。これまで、平成26年度に事業概要説明会を開催し、平成27年度に測量作業、平成28年度は事業化に向けた手続等を進めてきました。

平成29年度は用地取得に先立ち、関係する権利者の方々を対象に用地説明会を開催するとともに、都市計画線内の建物の物件調査等を実施していきます。

### 「クラウドファンディング」を活用した観光案内看板

本市の南東部には、史跡武蔵国分寺跡を始めとする歴史遺産、国分寺崖線の貴重な緑や名水百選に選ばれたお鷹の道・真姿の池湧水群などの自然、武蔵国分寺跡資料館や都立多摩図書館などの施設もあり、市の観光スポット（魅力）が集積した地域となっています。

初めて国分寺市を訪れた人でも、こうした観光スポットへ迷うことなくたどり着けるよう、観光案内看板を設置します。

その設置にあたっては、国分寺市では初めてとなる「クラウドファンディング」を活用します。

### 鉄道事業者によるホームドア等の整備への協力

視覚に障害のある方などが、駅ホームにおいて、線路への転落、電車との接触等をする事故が全国的に増加していることから、まず、西武鉄道株式会社と連携して、西武国分寺線、多摩湖線の国分寺駅におけるホ

ームドアの設置、また国分寺線の恋ヶ窪駅ないほうせんつきてんじょうにおける内方線付き点状ブロックの設置に向けた取組を開始します。